

令和4年度事業報告書

自 令和4年8月1日～至 令和5年7月31日

特定非営利活動法人 窯どこ

1. 事業の成果

①人材育成事業

丸林工房では、美濃焼の技術習得を目的に、全国各地から訪れている若者の支援を行ってきている。

今日に至るまで、土岐市まちづくり補助金や近隣の住民や業界からの寄付金などの支援により作陶活動の為にガス窯や電気窯設置などの整備を行ってきた。

また、工房のトイレ設置や水道設備・建屋の修繕なども同様に進め、活動の環境整備も整ってきている。

近年は、物価高や社会情勢の不安定要素などによる国内外の需要低迷で地域の陶磁器産業界は、非常に厳しい経済環境下に置かれている事もあり、焼き物づくりを目指す若者も減少していく中ではあるが、活動拠点（工房）の環境整備を進める事で、焼き物づくりに熱い思いを持った若者の支援を高めてきたいと考えている。

過去に取り組んできた一連の工房整備により受け入れ態勢は整ってきたことは、大きな成果に繋がってきていると捉えている。

今年度は、現在の入所者との懇親会や焼き物づくり勉強会などのソフト活動の取り組みを行い、入所者からの要望や相談を受ける事でコミュニケーションを高め、新たな会員増強への取り組みを行ってきたことによるで、今後の工房の活性化への期待も高まってきている。

②美濃焼産業観光設備事業

大正から昭和の時代にかけて土岐市の美濃焼産業界の生産・技術・デザイン力など牽引し、地域産業の発展に大きな役割を果たしてきた駄知町は、地場産業を発展させることで町の活性化に繋げようと熱い思いを持った先人達の努力と行動の賜物であるといっても過言ではない。

大正時代から昭和にかけて物流（焼き物）の大量輸送や、全国各地からの多くの人流の往来による商談の拡大などに大きく貢献した旧鉄道（駄知線）を歴史遺産と捉え、そんな先人たちの功績と歴史を後世に伝える事と、町の魅力発信と活性化に繋げて行く目的で、陶板絵図陶壁「駄知線と煙突」（滝七郎作画）を作成し設置した。

現在は、駄知線路跡地は、遊歩道として多くの住民の散歩や交流の場所として活用されているが、駄知線が約100年前（大正〇〇年）に開通し、約50年前（昭和49年）の豪雨による駄知線橋脚の流失により廃線となった事も忘れ去られつつある。

駄知線の開通により、当時（大正から昭和）は窯焼き（製陶業）も百数十件あり、石炭を燃料とした窯の煙突もそれ以上の本数があった。その大きな煙突から噴き出る真っ赤な炎や煙は、当時の陶磁器産業の盛況ぶりを反映していると言われてきた。それに伴い、当時の駄知町の活気も地域内では最も盛んで活況のある町であった。

今年度事業「駄知線と煙突」陶壁の完成で、そんな当時を少しでも多くの人々に想像して頂く事で、歴史遺産として今後、有効活用されることに期待する。

駄知町は、過去には、江戸時代に大名街道として岩村藩主が駄知町（大名街道）ルートとして利用されていた事を検証し、「大名街道絵図（故安藤実氏作画）」陶壁を町の最南端《（不動の滝）平成18年製作設置》と町の中心「大名街道絵図（和田一人氏作画）令和3年製作設置」、点と点を結び大名街道ルートの構築に繋げてきた。

今回の補助事業で、江戸時代（大名街道）と大正・昭和（駄知線）の其々の世代を超えた街道を、歴史遺産として整備したことにより、町の歴史や美濃焼産業や歴史発信の効果が高

まることで、更なる町の魅力発信による活性化に期待がかかる。

令和5年6月3日には「大名街道・駄知線」ウォーキングを実施し、町内外の地域住民が、町の歴史を通じて地域の魅力を再認識することが出来たことは、今後、産業遺産としての活用による交流人口の増加への取り組みの一環としての効果も得られた。

2. 実施内容

①人材育成事業

工房の作陶の設備や工房の活動環境整備も過去の取り組みにより完備したことで、ソフト面での活動を行ってきた。入所者からの要望や作陶技術についての質問などを聞き入れる事を目的とした懇親会や会議を重ね今後、人員増強など工房の活性化に向けた議論を行いコミュニケーションの機会を多く設けた。

②美濃焼産業観光設備事業

令和4年6月に土岐市の街づくり補助事業の支援を受けて陶壁の制作に向けて準備に取り掛かった。

陶板製作と陶板絵付けは、土岐市駄知町在住の墨絵作家 滝七郎氏に委託した。

企画立案や素描画についても、車両の絵図は、大正時代の蒸気機関車・昭和時代の電車が望ましいなど、町民からの様々な意見を受けながら協議し身近に感じられる昭和時代の電車をモチーフとした。

着手から約半年後の令和5年1月中旬には陶板の焼成は完成した。

陶板の貼り付けるためのステンレス製のパネルは地元の鉄鋼業者に制作を委託し、設置に関しては地元土木業者の協力など町内の様々な関係者からの支援を受けて1月末には完成の運びとなった。

完成後の、令和5年6月3日には、町内外の住民や関係者への披露を目的に、

町内外から約100名の参加により、大正時代に敷設された駄知線跡地の遊歩道を軸に

今までに取り組んだ大名街道絵図陶壁（不動の滝・郷の宮）2か所と「駄知線と煙突・陶壁の3か所を結ぶ「大名街道・駄知線と煙突」陶壁を巡る駄知町歴史ウォーキング（約4、5キロメートル）を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位:千円)
美濃焼産業観光施設整備事業	丸林工房作陶活動支援(人材育成)工房の環境整備工房の清掃と作業場の見直しと作業レイアウトの改装	(A)令和4年8月～令和5年7月 (B)丸林工房 (C)十数名	(D)全国から土岐市内に来て作陶活動をしている若者 (E)6名	1千円
美濃焼産業観光施設整備事業	作陶のための工房・交流を目的とした工房賃借料() (人材育成)	令和4年8月～令和5年7月 (B)旧丸林製陶所 (C)入所者と来訪者・関係者30名	(D)入所者と交流者 (E)約16人	400千円
美濃焼産業観光施設整備事業	丸林工房電気窯焼成電気代金(200V)	(A)令和4年8月～令和5年7月 (B)旧丸林製陶所 (C)6名	(D)土岐市在住の作陶家と従事者並びに後継者	138千円

			(E) 6名	
美濃焼産業 観光施設整 備事業	NPO法人活動拠点管理 の維持 電気代 (100V電灯)	(A) 令和4年8月～ 令和5年7月 (B) 旧丸林製陶所 (C) 20名	(D) 土岐市在住 の作陶家と従 事者並びに後継 者 (E) 20名	59千円
美濃焼産業 観光施設整 備事業	NPO法人活動拠点管理 の維持 土岐市上水道	(A) 令和4年8月 ～令和5年7月 (B) 旧丸林製陶所 (C) 20名	(D) 土岐市在住 の作陶家と従 事者並びに後継 者 (E) 20名	36千円
美濃焼産業 観光施設整 備事業	駄知線跡地 (現在遊歩道) に「駄知線と煙突」陶板絵 図の陶壁設置事業	(A) 令和4年6月～ 令和5年1月 (B) ・陶板制作 (丸 林工房) ・陶壁設置 (駄 知線跡地・現在 の遊歩道) (C) 50名	(D) 駄知町大名 街道・駄知線跡 地周辺住民と来 訪者 (E) 100名	1,915千 円
美濃焼産業 観光施設整 備事業	「駄知線と煙突」陶壁設置 の披露除幕式並びに、駄知 町歴史ウォーキング事業	(A) 令和5年6 月3日 (B) ・駄知線跡地の 陶壁設置場 所 (駄知町南 山消防詰め 所隣) ・不動の滝～郷 の宮～駄知 線跡地の3 か所の陶壁 設置場所の ウォーキン グコース	(D) 駄知町住 民・各種団体・ 陶壁制作関係者 団体・土岐市内 外からのウォー キング参加者 (E) 除幕式約 50名・ウォー キング参加者約 100名 (E) 150名	40千円
美濃焼産業 観光施設整 備事業	人材育成のための交流会 事業 (懇親会・会議費)	(B) 令和4年6月～ 令和5年1月 (B) 丸林工房・ 公民館・藤 山窯 (C) 30名	(D) 土岐市在住 の作陶家と入 所者並びにNP O法人窯どこ役 員 (E) 30名	24千円

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の金 額 (単位:千 円)
	なし		

令和4年度 活動計算書
 令和4年8月1日から令和5年7月31日まで
 特定非営利活動法人 窯どこ

単位：円

科 目 - 摘 要	金 額	
I 経常収益		
1 会費・入会金収入		
会費（入所費・工房使用料）	591,000	
特別会費（窯使用燃料賦課金）	49,050	640,050
2 寄付金等		
役員寄付金（法人運営資金）	0	
一般寄付金（法人事業運営資金）（工組・同友会）	20,000	
特別寄付金（作品販売寄付金算入） 作品販売協力金	0	
土岐市補助金 まちづくり補助金	1,215,000	1,235,000
3 その他収益		
雑入 普通預金受取利息	8	
経常収益計		1,875,058
II 経常費用		
1 事業費		
丸林賃借料 工房維持管理事業 美濃焼産業観光施設整備事業 人材育成（備品）	883	
大名街道陶壁設置事業 美濃焼産業観光施設整備事業 陶壁管理 陶壁説明案内パネル設置（不動の滝・窯の宮）	1,915,271	
丸林賃借料 美濃焼産業観光施設整備事業 人材育成 工房賃借料	400,000	
光熱費（電灯100V） 美濃焼産業観光施設整備事業 人材育成 工房光熱費	59,431	
電力費（200V） 美濃焼産業観光施設整備事業 人材育成 工房電気燃料費	138,671	
燃料費（ガス） 美濃焼産業観光施設整備事業 人材育成 工房ガス燃料費	18,590	
事業費計		2,532,846
2 管理費		
会議運営管理費 会議場使用料ほか	0	
振込手数料 支払い手数料	3,080	
水道使用料金 上下水道使用料金	36,545	
懇親会（会議費）	24,820	
雑費 雑務費（会計処理）・火 災保険・慶弔費・除幕式備	40,000	
管理費計		104,445
経常費用計		2,637,291
当期正味財産増減額		▲ 762,233
前期繰越正味財産額		2,561,706
次期繰越正味財産額		1,799,473

貸借対照表

令和5年7月31日現在
特定非営利活動法人 窯どこ

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
預金	588,178		
現金	0		
流動資産合計		588,178	
2 固定資産			
器具備品	1,211,295		
固定資産合計		1,211,295	
資産合計			1,799,473
II 負債の部			
1 流動負債			
未払い金	0		
借入金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額	2,561,706		
当期正味財産増減額	▲ 762,233		
正味財産合計			1,799,473
負債及び正味財産合計			1,799,473

財産目録

令和5年7月31日現在

特定非営利活動法人 窯どこ

(単位：円)

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0		
普通預金（十六銀行 本体事業）	578,361		
普通預金（十六銀行 工房活動事業）	9,817		
流動資産合計		588,178	
2 固定資産			
器具備品			
ガス窯	483,408		
ガス窯用配管設備	205,438		
電気窯用配線設備	144,449		
電気窯	378,000		
固定資産合計		1,211,295	
資産合計			1,799,473
II 負債の部			
1 流動負債			
前受け金	0		
未払金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			1,799,473

前事業年度の社員のうち10人以上の者の名簿

令和5年7月31日現在

特定非営利活動法人 窯どこ

氏名	住所又は居所
加藤進路	
伊藤照明	
加藤賢治	
林 英樹	
若尾洋造	
加藤恭平	
日比野洋示	
塚本香織	
日比野茂則	
川口虎七	
若尾美紀	
若尾宗洋	
若尾貴洋	
若尾智洋	
若尾美加子	
加藤悦子	
丹羽哲男	
丹羽章子	
林 和子	
加藤正勝	
塚本俊一	
林克彦	